

21世紀水倶楽部だより

発行：特定非営利活動法人 21世紀水倶楽部
発行者：栗原 秀人
編集：特定非営利活動法人 21世紀水倶楽部 広報担当
〒112-0002 東京都文京区小石川 5-5-5
URL <http://www.21water.jp/index.htm>
E-mail <mailto:info1@21water.jp>

第79号 2023年11月13日号

「我が家のめだか」

監事 畑田正憲

監事として二期目を迎えることになりました。よろしくお願
いします。

21世紀水倶楽部だよりの執筆を依頼され、何か「水」にま
つわる話題がないだろうかと考えていた時、小さな庭の片隅の
メダカに目が留まった。メダカを飼い始めてもう20年程にな
るだろうか？買った記憶はないので、誰かに貰ったはずだが定
かではない。毎朝、餌をやるとサーっと集まってきて1分ほど
で食べてしまう。最近では足音がするだけで餌の時間だと思
うのか集まりが良い。よく見ていると浮いている餌をパクつくの
と餌が沈降するのを素早く追いかけるのがある、愛嬌たっぷり
でちょこちょこした動きになんとも癒される。

野生のメダカは絶滅が懸念されているが、我が家のメダカは



観賞魚として品種改
良されたもので、そ
の数550種ともい
われる。もともと白、
黒、黄色の3種がい
たが、交配によって
黒や白は少なくなり、
昨年にはついに黄色

のヒメダカだけとなってしまった。

メダカは大変丈夫で冬は水槽の底で餌も食べず寒さに耐え、
3月頃水温の上昇とともに活動開始し4月から卵を産み始め
る。孵化すると数ミリのまるで刺のようで夏のころには1~2
cm程に育ち、成魚の仲間入りをするが、小さいころの共食
いを避けるためと水槽を分けていたら、4鉢まで増えてしまった。

最近、餌の減りが早いと思っていたら、どうも孫(女子5人)
が来た際にかかなりの量をくれているようでちょっとした富栄
養化状態である。犯人が一番下の3歳児、たくさんあげるのを
「よし」と思っており、加減を理解する年齢になるまでは、水
を継ぎ足して薄めるかとあきらめている。

春には小さなメダカが元気に泳ぎ、水槽の睡蓮が咲く夏は涼

しさを演出、トンボ
も連れ立って産卵
に来る。秋は紅葉が
水辺を彩り、冬には
水場として野鳥も
やってくる。四季
折々に我が家の奥
さんからメダカつ



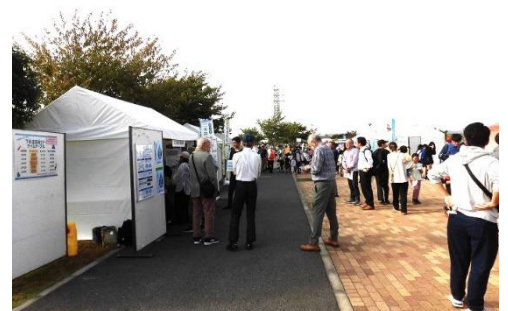
ていいね！をもらうが、鉢の多さに苦情を言われ、汚れた水槽
の掃除もまったく手伝おうとはせず、21世紀水倶楽部はクマ
ムシやメダカを飼うのが活動？などと聞いてくる。・・あえて反
論しない。

2023年度活動報告

「荒川・下水道フェスタ2023」活動報告

神山真一

埼玉県と埼玉県下水道公社の主催による「荒川・下水道フェ
スタ2023」が、10月14日(土)に荒川水循環センター
戸田市上部公園で開催された。コロナの影響で4年ぶりの参加
となり、NP021世紀水倶楽部(以下、当会)と水コン協関東支部
共催でブースを出展した。従来は荒川水循環センター管理棟前
の駐車場スペースを活用して実施していたが、再構築工事の関
係で会場が戸田市上部公園に変更になった。また、開催時間も
従来は午前9時30分~16時までであったが、12時から16時
までの4時間に短縮された。当日は天候に恵まれ会場には地域
の人達を中心に約3,000人が訪れた。会場となった戸田市上部
公園は荒川水
循環センター
の上部を公園
にしたもので、
多目的広場や
パークゴルフ
場などが整備



され、広さが6.3ヘクタールあり戸田市が管理している。

出展したブースの説明として当会から6名、水コン協関東支部から4名が参加した。ブースでは来場者に下水道のしくみを理解してもらうために大型パネルを利用した下水道クイズを企画し約200人の方に参加してもらった。また、ブースでは大型パネルの他に当会から活動内容と列車トイレのパネルを展示し、水コン協関東支部ではコンサルタントの魅力を紹介するパネルやポスターを展示した。クイズへの参加者には景品として、当会からおもしろ消しゴムと微生物クリアファイルを、水コン協関東支部から蛍光ペンを準備した。また、当会の大貫理事がミニサボテンを景品用に用意してくれた。下水道クイズは、大型パネルで下水道のしくみを説明しながら、3問(①下水処理場で水がきれいになるまでにどのくらいの時間がかかるか?②よごれた水をきれいにしてくれる微生物がたくさんいる場所はどこか?③下水処理場で電気をつくっている場所はどこか?)出題した。クイズへの参加は親子連れが多く、子どもと一緒に大人も楽しく下水道クイズに挑戦してもらった。また列車トイレのパネルもたくさんの方に興味深く見ていただき、当



会の清水顧問から熱心な説明があった。

今回のイベント会場は下水処理場の上部公園でまさに空中公園そのもので実に気持ちが良い場所であった。地域の人に利用してもらっている公園の下で、多くの人が利用している下水道の処理施設があることを下水道クイズにより理解してもらったことは非常に有意義なことではなかったか。

2023 東京湾大感謝祭の報告

亀田泰武

昨年は大棧橋の先端にある大きなホールで開催されたが、今年は横浜市役所1階のアトリウムで場所を移して開催となった。

○横浜市役所市役所アトリウムでの出展 10/14(土)、15(日)

今回は会場スペースが昨年より狭く、市民団体コーナーでの無料出展がなくなり、NPOは安かったが出展は有料であった。割り当てられた場所は主会場から少し離れた広い通路のなか。感謝祭のHP掲載が開催まで遅れたりなどPR不足気味で、主

会場から離れているので来客が心配であったが、桜木町方向に向かう通路の一つであったためかそこそこの来客があった。

パネルは、東京湾の海水量、下水処理水量などの基礎データ、下水処理の図解、葛西海浜公園のハマグリ調査、奇跡の一枚の微生物画像集の5枚。イーゼル設置のクイズに誘い、興味のある人々にパネルの説明をおこなった。

クイズは流域人口当たりの東京湾の水量を推測してもらうもの。50㎡から5000㎡まで6個の数字のどこかにシールを貼ってもらった。15才以下は赤を、15



~60才までは青を、60才以上は黄色で、答えは2千㎡で感覚からすると意外と多いと思われるが、回答が一番多かった。回答者には大貫理事製作のひょうたん50個と微生物のクリアファイル2種。シールは合計227枚貼られ、このうち15才以下が41枚で、子供の参加が少なかった。ひょうたんは15日の午前でなくなった。

展示ホール主会場では、GKPが東京ワンダー下水道を出展した。

準備や説明の参加は、13日(金)準備 大貫、高橋真、亀田 14日(土) 佐藤、高島、高橋真、亀田 15日(日) 竹石、大貫、若狭、渡部、亀田



○東京湾シンポジウムのポスター発表 10/13(金)

シンポジウムは大棧橋ホール奥に設置されたステージで実施。第23回となった。

ポスターセッションで葛西海浜公園のハマグリを発表。最近貝類が殆どいない海浜公園で、一度撒かれたハマグリが大きく育った例と、コロナが始まる頃奇跡的に定着したハマグリがある程度育っていたが、今年また減っていることを報告。貝類が定着に成功さえすれば育つと思われる。

徒然水草 其之参 「おでの歌」

嫌気好気法師

水をテーマとした音楽は多いが、水は水でも下水となると、思い浮かぶのは「はたらきもの下水道」くらいだ。ただ、最近、下水道界では「泥の水中花」なる歌が一部で流行していると聞く。その内、下水道協会からCDが発売されるのだろうか？

最近注目のChatGPTに「下水道の歌」について聞いてみたら、10曲ばかりを紹介してくれた。ただ、その内容はたとえばドブネズミが這い回る暗黒地下世界を扱ったおどろおどろしいものが多い。やはり、下水道は恐ろしい闇の地下迷宮というイメージで残念なことである。

しかし、中には明るく楽しい歌もある。「下水道の歌」は、アート・カーネイ (Art Carney) という歌手の1954年の曲で、レコードジャケットでは、ゴム製作業着姿のカーネイ氏がマンホールから身をのり出している。元気一杯の行進曲調で、「♪俺の仕事は下水道の清掃、つらいけど大事な仕事だ、相棒と頑張ってるぜ！」と管路管理業協会さんが聞いたら喜びそうな歌詞である。

当然ながら下水云々と名乗るミュージシャンは皆無である。学生時代に「硫酸バンド」なる三人グループを組んでいた先輩方がおられたが、その活動は主にコンパや忘年会の場に止まっていたため、メジャーレーベルに注目されることは遂になかった。しかしながら、この先輩方は、歌手になれなかったおかげで、今ではいずれも水界の重鎮になっておられる。

例外もある。オデイという名の歌手をご存知だろうか？ アニタ・オデイ (Anita O' day) は1950~60年代に活躍した米国の女性ジャズシンガーである。人気があり、来日もしたので、オールドジャズファンにはご存知の方もおられるのではないだろうか？ もちろん、彼女に下水汚泥との接点は全くないのだが、下水道界の人間としては、その名に何だか親近感を感じてしまう。

彼女のステージは You Tube で見ることができる。いくつかあるが、筆者としては屋外ライブで歌う「二人でお茶を」をお勧めしたい。つば広帽子のファッションも素敵だし、観客の様子も面白い。何より、ちょっと舌足らずな感じで軽快にスイングするハスキーボイスが実に魅力的だ。

・・・さて、今宵はアニタ・オデイを聞きながら、汚泥有効利用について思いを巡らすとしましょうか。彼女の歌にはやはりオン・ザ・ロックですかね。

「アート・カーネイ、下水道の歌」

<https://www.youtube.com/watch?v=qRvrj-x1lSo>

「アニタ・オデイ、二人でお茶を」

<https://www.youtube.com/watch?v=WTOHZXFE05c>

編集幹事のあと整理

- 巻頭文の畑田監事。奥様がNPO活動に興味を示されておられるようですね。第三者のご意見も貴重です。できればご主人から詳細なる説明を。
- 活動報告二件は10月のほぼ同じ日に開催された行事についてです。
- 徒然水草シリーズの村上会員。第3回目です。
- 会員だよりコーナーへの投稿を募集しています。投稿はいつでも受け付けます。直近の号に掲載します。投稿要領などは望月から毎回お出ししている原稿依頼メールをご覧ください。

編集幹事・望月